

平成 29 年 10 月 20 日 (金) 午後 2 時 15 分

平成 29 年度第 2 回学校協議会議事録

1. 学校長挨拶

2. 委員紹介

3. 今年度の本校の取り組み進捗状況

(1) 本年度の学校経営計画について (校長)

- ・授業力向上ではアンケートを 4 段階で実施。
- ・今年度は模擬試験の参加者が増加した。
- ・チームカンボジアの発表も成果あり。
- ・アセスメントシートを活用している。
- ・クラブ加入率は 1 年 95%、学校全体で 82% に達した。
- ・SSH の各パートへの工夫をこらしている。
- ・育成事業として研修 (エピペンの講習) を企画・実施した。
- ・地域交流 (阪南中学との交流) を行った。
- ・全中学校への出前説明会を企画して連絡を行う。塾対象の広報にも注力。

(2) 進路指導状況について (進路指導部長)

- ・部会の回数を増す (月一⇒週一)。
- ・情報提供の優先度を増加させた。
- ・センターへの生徒の意識の増加が認められる。
- ・力を伸ばす方策 (自学自習の習慣が課題)。
- ・センター試験受験者が増加。
- ・指定校を受ける生徒は減少。

(3) 「骨太の英語力養成事業」について (国際文化科長)

- ・骨太が最終年度となった。本事業は 3 年生がメインターゲットである。
- ・1～3 年が冬休みに TOEFL を受験、TOEIC 講習の実施、今年度より GTEC 1 年にスピーキングテストを加える。

(4) 国際交流について (担当指導教諭)

- ・国際交流はおおむね例年通りで、学習意欲につながるように働きかけている。

(5) SSH 事業について (SSH 主担教諭)

- ・中間報告書参照のこと

(6) ユネスコスクール活動について (担当指導教諭)

- ・今年度取り組みの報告

(7) 生活指導について（生活指導部長）

- ・遅刻数は減少した（10月はペースが増加）。
- ・挨拶の励行を実施。
- ・自転車使用時の傘さし運転については課題あり。
- ・貴重品の管理は自己管理の徹底を呼びかけ。

(8) SIC の取組（教頭）

- ・相互授業見学の実施、100周年とのタイアップによる機器の充実を計画。
- ・行事の見直しを行う。
- ・広報活動をさらに進める。

4. 質疑、協議 各学校協議委員より指導助言

Q 生活 遅刻や生徒の雰囲気に変化はあるか。

A 昨年は自転車指導に重点をおいたため、遅刻は若干増加していた。

Q 始業前のテストなども活用してはどうか。進路面でも、遅刻等についても効果があるのでは。

A 現在は、あいさつ・校門での呼びかけを行っているが効果はでていない。

Q SSH についてだが、境界領域や国際共同研修について 英語でのサイエンスの授業を行ってはどうか。

A 授業は教科書が必要、検定教科書以外は副読本としてしか使用できない。また国文の生徒が必ずしも理数好きというわけではないので。

意見 遅刻数等悪い部分も確かにあるが、自由という校風も大切なのでは。

意見 学校にゆとりがないと思われる。もっと学校に魅力が必要。なによりも授業が大切なのは言うまでもない。

5. 授業見学（15時15分～15時50分）

6. 授業見学講評及び指導助言

- ・英語と古典、和やかにユーモアを交えて授業を行っていた。生徒はまじめだった。しっかり頑張っているのが印象的。
- ・集中力が高い。生徒も先生も見学に慣れている。導入から見せていただいたが、和やかで集中も引き出すものだった。工夫されている。
- ・文系、理系で雰囲気も違ったが、ICTの導入は難しいという面も感じた。
- ・10点満点で9点。準備もよくされていて教材もそろっている。興味を持たせるよう工夫されているのを感じた。

7. 校長謝辞

本日は生の住吉高校を見ていただいた。普通科にはない魅力がある学校なのでさらに生徒を伸ばしたい。